

広報

みなだの風 11.1

2004

No.506

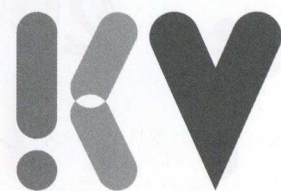


CONTENTS

まちの決算	2~3
町職員の給与の現状	4
金田小学校体育会	5
敬老会	6~7
みんなのひろば	8~11
くらしの情報	12~15



平成15年度 まちの決算

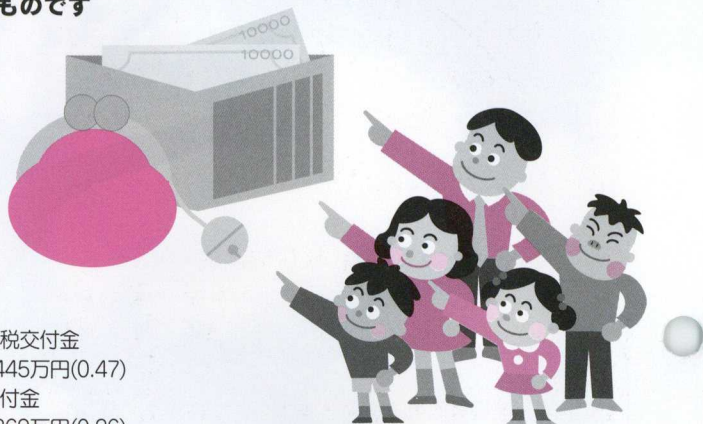


平成15年度決算が、9月定例議会で認定されました。
みなさんが納めた税金、国や県などからの補助金、地方交付税などの収入がどのくらいあったのか、また、町はどのくらいお金を使ったのか、決算のあらましをお知らせします。

■町民一人当たり換算した計数については、平成16年3月末現在の人口(8,525人)で割ったものです

普通会計決算

平成15年度普通会計の決算は、歳入**51億5,358万円**に対して、歳出**49億7,227万円**となりました。
差し引き**1億8,131万円**から翌年度へ繰り越すべき財源**1,597万円**を差し引いた残額**1億6,534万円**が実質収支額(黒字)となります。

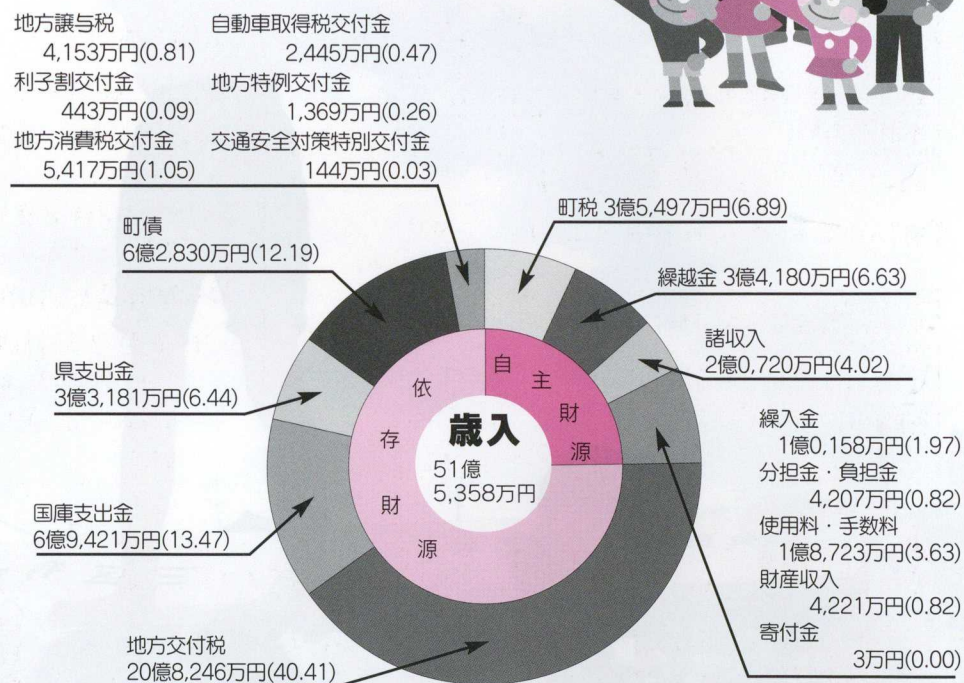


歳入

町民一人当たり
604,526円の収入

町税の内訳

町民税	1億4,65万円(41.28%)
固定資産税	1億3,670万円(38.51%)
軽自動車税	1,426万円(4.02%)
たばこ税	4,827万円(13.60%)
入湯税	920万円(2.59%)



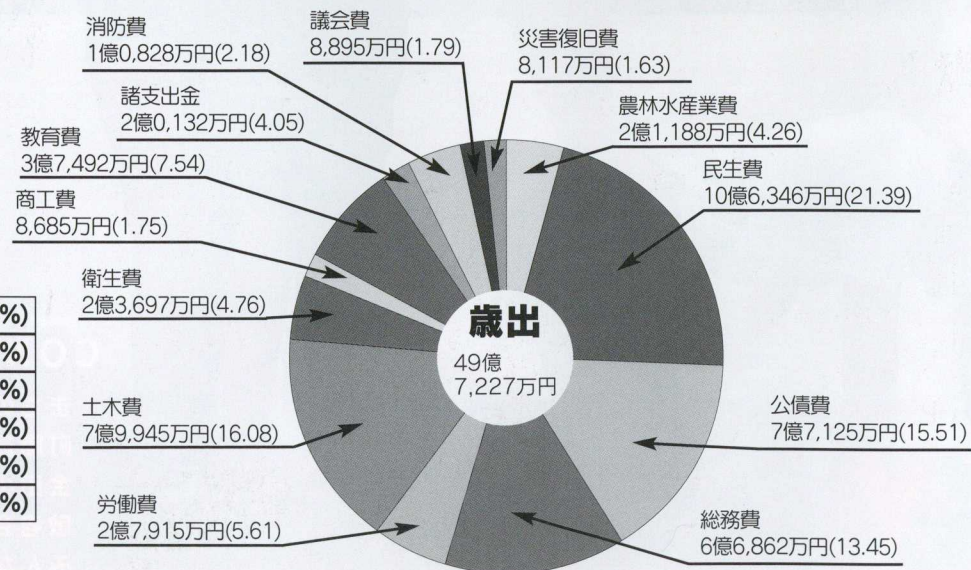
()内は構成比%

歳出

町民一人当たり
583,257円の支出

教育費の内訳

教育総務費	8,416万円(22.45%)
小学校費	6,286万円(16.77%)
中学校費	8,512万円(22.70%)
社会教育費	1億0,315万円(27.51%)
保健体育費	9,187万円(24.76%)
専修学校費	32万円(0.09%)



()内は構成比%

用語の説明

- 地方交付税
町の独自政策を補助するために、国から市町村に交付されるお金
- 町債
公共事業などの財源として国や銀行などから借りるお金
- 地方譲与税
国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金
- 農林水産業費
農業・林業の振興のために使われるお金
- 民生費
社会福祉や児童福祉などに使われるお金
- 公債費
町がかかえる債務(借金)を返済するためのお金

平成15年度末の町の借金(地方債現在高)は
76億9,491万円

会計名	現在高
一般会計	63億0,731万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	11億0,673万円
水道事業会計	2億8,088万円
合計	76億9,491万円

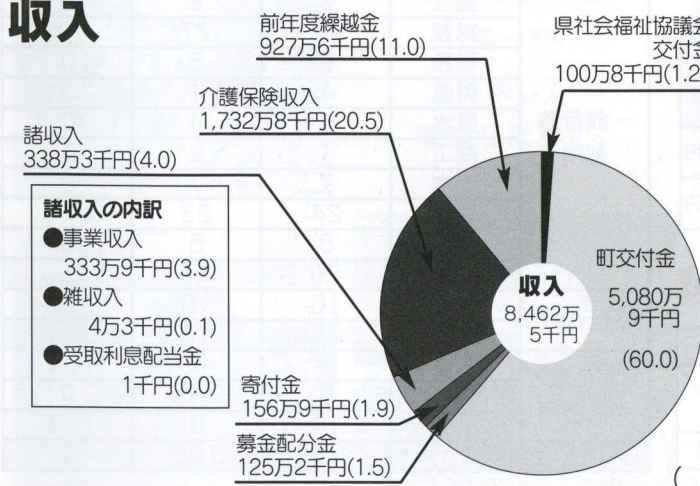
平成15年度末の町の貯金(基金 現金ベース)は
74億0,278万円

会計名	現在高
一般会計	66億2,096万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	6億8,078万円
国民健康保険特別会計	1億0,104万円
合計	74億0,278万円

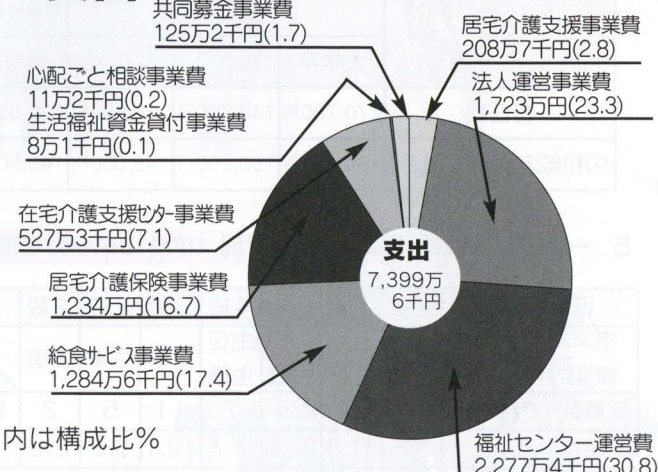
金田町社会福祉協議会の決算

平成15年度社会福祉協議会の決算は、収入**8千462万5千円**に対して、支出**7千399万6千円**となりました。
差し引き**1千62万9千円**を平成16年度へ繰り越すことになりました。

収入



支出



()内は構成比%

特別会計決算

町には普通会計とは別に特別会計があります。
特定の事業のために使うお金を出し入れるためのもので、「国民健康保険特別会計」「老人医療特別会計」「水道事業会計」があります。
それぞれの決算は次のとおりです。

国民健康保険特別会計

歳入総額 **7億6,255万円** 歳出総額 **7億3,238万円**

歳入総額7億6,255万円、歳出総額7億3,238万円で、差し引き3,017万円が平成16年度へ繰り越されます。

老人医療特別会計

歳入総額 **9億9,445万円** 歳出総額 **9億6,446万円**

歳入総額9億9,445万円、歳出総額9億6,446万円で、差し引き2,999万円が平成16年度へ繰り越されます。

水道事業会計

●収益的収入および支出

収入総額 **2億1,225万円** 支出総額 **2億2,225万円**

収入総額2億1,225万円、支出総額2億2,225万円で、利益剰余金は、差し引き1,000万円の欠損金となりました。

●資本的収入および支出

収入総額 **152万円** 支出総額 **3,845万円**

収入総額152万円、支出総額3,845万円で、利益剰余金は、差し引き3,693万円の欠損金となりました。



町職員の給与の現状

地方公務員の給与は、国および他の地方公共団体とのバランスを考え、町議会の審議を経て、条例で定められることになっています。

町職員の給与の実態をみなさんに知っていただくため、その現状を公表します。

1. 人件費の状況 15年度

住民基本台帳人口 (平成16年3月末)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	前年度の 人件費率
8,525人	49億 7,227 万円	1億 6,534 万円	8億 8,948 万円	17.9%	15.3%

2. 職員給与費の状況 16年度

職員数(A)	給与費				一人当たりの給与 費(B/A)
	給料	職員手当	期末勤続手当	計(B)	
96人	3億 9,101万 1千円	4,052万 9千円	1億 5,491万 2千円	5億 8,645万 2千円	611万円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 給与費は、当初予算に計上された額です。
3 職員数には、教育長を含みます。
4 その他に、特別会計職員6人(国保職員2人、水道企業職員4人)がいます。

3. 平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (平成16年4月1日現在)

一般行政職			単純労務職		
平均給料月額	平均給与月額 (手当を含む)	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (手当を含む)	平均年齢
339,949円	359,919円	44.9歳	272,900円	289,550円	45.7歳

(注) 平均給与月額には、時間外勤務手当および期末・勤続手当は含みません。

4. 初任給の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	一般行政職				単純労務職
	大学卒	短大卒	高校卒	高校卒	
初任給	170,700円	148,500円	138,800円	136,000円	
採用後2年経過時給率	184,400円	160,200円	148,500円	145,500円	

5. 一般行政職の級別職員数の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	課長	課長	係長	係長 主査	主任 主事	主事	主事	主事	
職員数 人	4	8	29	25	7	11	5	2	91
構成比 %	4.4	8.8	31.8	27.5	7.7	12.1	5.5	2.2	100

6. 職員手当の状況 国と同じ

① 期末・勤続手当 職制上の段階、職務の級等による加算措置有

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.4月分	1.6月分	3.0月分
勤続手当	0.7月分	0.7月分	1.4月分

② 退職手当

区分	最高限度	勤続20年	勤続25年	勤続35年
自己都合	60.0月分	21.0月分	33.75月分	47.5月分
勤奨・定年	60.99月分	28.0875月分	43.335月分	60.99月分

③ 時間外勤務手当 (水道、選挙担当職員分を除く)

15年度	支給総額	
	787万6千円	職員一人当たり支給年額 10万1千円

④ 扶養手当・住居手当・通勤手当の月額

扶養手当	配偶者の分	13,500円
	配偶者以外の2人目までの分	6,000円
	ただし、配偶者が扶養でない場合1人目につき	6,500円
	ただし、配偶者がいない場合、1人目につき	11,000円
	その他の分	5,000円
住居手当	借家の場合の支給限度額	27,000円
	持ち家の場合の支給額 (新築から5年)	2,500円
通勤手当	2キロ以上5キロ未満	2,000円
	5キロ以上10キロ未満	4,100円

7. 特別職の給料等の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	給料月額	区分	報酬月額	期末手当
町長	790,000円	議長	306,000円	6月期1.4月分
助役	610,000円	副議長	261,000円	
収入役	558,000円	議員	238,000円	12月期1.6月分
教育長	514,000円			計 3.0月分

8. 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在)

区分	職員数		対前年 増減数	
	平成15年	平成16年		
一般行政部門	議会	2	2	0
	総務	26	27	1
	税務	6	6	0
	労働	1	1	0
	農水	4	4	0
	商工	1	2	1
	土木	7	7	0
	民生	24	23	△1
	衛生	5	5	0
	小計	76	77	1
	特別行政部門	教育	16	16
小計	16	16	0	
公営企業等 会計部門	水道	5	4	△1
	国保・介護	5	5	0
小計	10	9	△1	
合計	102	102	0	

(注) 職員数は教育長を含む。

第130回 金田小学校 体育会

ひにち 10月3日(日)
てんき ハレ
ばしよ 金田小学校
めあて みんなで協力し
体育会を成功さ
せよう。

